



vol.2

大津のまちの おっちゃんたちの 教育力

市民活動センターの交流スペースご利用ください！

市民活動センターには、自由に使える、交流スペースがあります。ある日の交流スペースでは、水墨画イラスト教室の石田先生のライブペインティングにたくさんの人が集まり、他のテーブルの上では、チクチク手作り作業が進められていました。誰でも参加できるパソコン教室やボードゲーム大会なども定期的に開催されています。交流スペース使用は無料。展示スペースや、予約可能なテーブルもあります。ぜひ、ご利用ください。



イラスト
by
はっぴい
はっぴい



センターを一步出ると
京阪浜大津駅の陸橋の上。いつもの見
慣れた場所ですが、電車も船もバスも自動車
も人も観られる、素敵なスポットです。ちょ
っと足を止めて、ご夫婦で、子どもさん
と、しばし楽しみませんか？



*平成28年度より特定非営利活動法人HCCグループが指定管理者として運営しています

発行：大津市市民活動センター
〒520-0047 滋賀県大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津1階
TEL:077-527-8661 FAX:077-527-8662
HP: <http://movementotsu.com/>

詳しくは、センター設置のチラシをご覧ください。
ボランティアさんをお集まりしています。
子ども店長、団体さん、イベント前日当日のボラ
にはなれども考えています。
の活動への理解を深めてもらえ、きつかけのフ
と考えると、多くの市民の方に各団体
的に素敵な体験を考えて、実施します。
私たちが、この活動を通して、子どもたちが自
主的に創造豊かな「生きる」力を育んでくれたら
と考えました。そして、多くの市民の方に各団体
的に素敵な体験を考えて、実施します。
経験をし、子どもさん、団体さん、イベント前日当日のボラ
にはなれども考えています。
の活動への理解を深めてもらえ、きつかけのフ
と考えると、多くの市民の方に各団体
的に素敵な体験を考えて、実施します。
私たちが、この活動を通して、子どもたちが自
主的に創造豊かな「生きる」力を育んでくれたら
と考えました。そして、多くの市民の方に各団体
的に素敵な体験を考えて、実施します。

2016年11月12日(土) 12:30~16:00
13日(日) 10:30~14:00
皇子が丘公園体育館
お仕事をして仮想通貨「まち」を手に入れ、買い
物したり遊んだりします。

第2回 子どものまち おおつ



◆市民活動団体や市民の方の交流を目的とした
イベント『市民活動フェスタ2016』。今年のテーマ
は「防災」。皆さんは地震や大雨や台風とい
った「いざ」という事態に備えていますか？
滋賀県は災害が少ない地域と言われていますが、
自然災害はいつ何時起こるかわかりませんが、
「備えておく」といっていいかもしれません。
からない」といった不安や悩みを解決！子どもか
ら大人まで災害に備えて、楽しく学べる「防災」を
他にも、ものづくり体験やスナック、飲食販売
など「防災」も大募集！詳しくは大津市市民活
動センターのHPやFBをご覧ください

2016年11月23日(水・祝) 10:00~16:00
明日都浜大津
入場無料(防災フェスタ一部有料)

市民活動フェスタ2016



アニメ初音ミク

◆企画から運営まで全て市民ボランティアによる
国際交流イベント。今回は東日本被災地の鎮魂
も兼ねて来日。モンゴリ曲中心に「花は咲く」他
18曲を演奏。ピュアで繊細な演奏はきくと聞く
すが、心にしみる共感と感動を「アジア、欧米での
海外公演では多くの賞賛を得て、2003年ユネス
コから「世界遺産」に登録されています。
大津公演では大津児童合唱団と琵琶湖周航の
歌を共演します。モンゴリの大自然が奏でる音に
乗せて琵琶湖の水辺の自然の中で育った子供達
が歌う琵琶湖周航の歌は今までの見事なア
ンサンブルを実現するでしょう。
スタッフ参加、ボランティア参加大歓迎。特に
チケット販売大活動と当日の会場運営をしてく
れる方を募集しています。
(センター窓口で前売券を販売しています。)

2016年11月1日(火) 18:30~
大津市民会館大ホール
参加費 前売券3000円 当日券3500円

モンゴリ国立馬頭琴交響楽団



◆2009年に始まった大津ジャズフェスティバル
は、今年で第8回目を迎えました。今年も1日目
の15日は大津のまちなかを中心に、2日目の16日
は湖岸を中心にした会場で延べ約120組のミュ
ージシャンによる様々なジャンルの演奏がお楽し
みいただけます。
音楽以外にもお楽しみいただける企画を取り揃え
て、たくさんの方々に楽しんでいただくことを期
ち申し上げております。また、このイベントを支え
るボランティアスタッフも大募集集中！スタッフ
の一員として関わってみたいませんか？
イベントの詳細、またボランティア募集について
は当会ホームページ(<http://otsu-jazz.com/>)を
チェックしてくださいね！

2016年10月15日(土)~16日(日)
12:00~20:00(一部、時間外にも演奏あり)
JR大津駅~京阪浜大津駅~びわ湖畔
のべ22会場
参加費 全会場無料

第8回 大津ジャズフェスティバル



待ちに待った、秋です！イベントです！目白押しですよー！市民活動団体さんからのメッセージをお届けします...



大津のまちの おっちゃんたちの教育力

大津の町は、新しさの中に文化と歴史が息づいているまち。

大切な古いものが受け継がれているのは、

先人の方々がつないでくださったおかげでしょう。

大津市市民活動センターで開かれている、楽しみ、学びの場、

そんな想いが溢れています。

学ぶことはただ辛いことではない！我慢してするものじゃない！

楽しくてやりたくて夢中になる、それが本当の学びなんだ！って伝えてくれる、

おっちゃんたちの熱くて優しくで粘り強い心をひしひしと感じます。

学びたい！成長したい！という意欲を、

地域のために力を出したいという豊かな心を、

子どもたちの、次世代の心の中に育ててくれておられる、地味だけど、

着実に誇らしい、本物の教育力あふれる3つの活動団体をレポートしました。



大津・将棋を孫に伝える会

子どもたちに楽しくとことん打ち込む体験を！

将棋のことを全く知らない子どもにも、たった2時間で将棋の基本の基本のところを身につけ、負けてもう一度やりたくなるよう楽しめるよう工夫された、幼稚園の年長さんから学べる教室が開かれています。

「将棋を孫に」という名前ですが、自分の孫に将棋を教えようという集まりではなく、「将棋が素晴らしければ素晴らしいほど、自分の孫だけに教えているのは違う。いい世の中にするためには、他の子たちにも面白さを体験して欲しい。」と同会の三宅さん。

初めと終わりの挨拶など礼儀や相手を思いやる心を学び、子どもたち同士、世代を超えたコミュニケーション力や、負けた時の心の整理など自分自身と向き合う力を培います。楽しみながら集中すること、とことん打ち込む体験が得られます。「子どもによって合う合わないはあるので、無理強いは禁物。いろんな選択肢があることが大切。」とのことでした。

勝った時は、負けた人を思いやる。派手に喜ばない。例えばイチローは静かでしょう、と伝えると子どもたちは分かってくれるそう。

帰りの子どもたちの感想を尋ねたら「楽しかったあ！」とのことでした。



親子で参加(祖父母の方も歓迎)
参加費 500円
教室は第1、2日曜 14時～他 センター会議室、交流スペース他、市内数カ所で開催。
予約が必要
詳しくはセンターに設置のチラシ、または ☎090 6678 3012 三宅さんにお問い合わせください。



SOL (ソル) チャレンジを支え、成功を応援する力！

企業の第一線でバリバリ働いていたメンバーのスキル、経験で地域貢献を、メンバーにとっては喜びと生きがい、と活動している、NPO法人SOL。中心を担う柳原さん、荒井さんの現役時代は、夢と希望に溢れ、多くのことが創り出された、超前向きな時代だったそう。

「失敗も成功もたくさん経験してきました。失敗のできない今の時代に、新たなチャレンジをする人を応援したい」とさまざまな活動をバックアップ。

今回は、音楽療法を日本に広めようと大学でも教鞭をとる坂下さんを応援しています。音楽療法は、歌うことで思い出す回想法等により、認知症や要介護予防や、引きこもり、自殺の防止、精神を病むことからの回復に役立つと言われていて、アメリカではPTSDなどの治療に効果のあることが広く認知されていますが、日本では大学で資格を取っても食べていけない状態。専門家が仕事に集中できるよう、また社会的認知度を上げていこうと、SOLメンバーが広報、会場設営などを行っています。

音楽療法を使った、ココロとカラダが喜ぶ”歌声サロン”では、体操、発声練習や参加者同志の交流などさまざまなメニューが実施されています。参加者からは体調が良くなった、体温が上がったとの感想も寄せられていました。



ココロとカラダが喜ぶ”歌声サロン”はセンター会議室他で月2回開催。
参加費 500円、タオル持参、申し込み必要
詳しくはセンターに設置のチラシ
または ☎090 7114 2625 SOL(ソル)さんへ
お問合せください



瀬田川リバプレ隊 自然と共に生きる姿で次世代につなぐ

瀬田川リバプレ隊は、瀬田川周辺などの草刈り、清掃、年一回のヨシ刈り活動他、木工教室、研修会など河川に関わる幅広い活動を行っています。

フィールドの一つ、建部大社の東側にある高橋川の清掃は10年前から始まりました。生き物調査、ゴミ調べをした瀬田南小学校5年生の「もっと綺麗にしまあかん。大人の人も手伝って」との声をきっかけに、よっしゃ、それならやろうと。毎月25日午前中、夏の日も冬の日もよほどの荒天以外は続けられてきました。以前はあった、橋の下にいくつもの家庭ゴミのビニール袋、テレビなどの大型ゴミ・・・はもう捨てられなくなりました。「しんどいことない。綺麗になってスッキリして、こんないいことあるかいな」とリバプレ隊朝田さんと美濃部さん。河川敷には子どもたちが描いたポイ捨て禁止のポスター150枚も掲示され、ご近所のつくし保育園の子どもたちもゴミ拾いに参加してくれています。一ヶ月でも大量のゴミで50袋を超えることも。でも続けた甲斐があって、市から集めたゴミの回収に来てもらえるようになったそうです。通りすぎるこどもたちから「今日は25日やね」の声も聞かれ、活動が浸透していることがうかがわれました。



作業は 毎月25日午前中
瀬田川高架下でも毎月10日に実施
どなたでも参加できます
詳しくは ☎090 9252 1349 朝田さんへお問合せください